

## 電子的情報公開（電子付録・J-STAGE Data）利用規定

1. 季刊地理学に審査の上で掲載される原稿記事に対して、その著者は電子付録あるいはJ-STAGE Dataによる電子関連資料の公開を申請することができる。編集委員会によって搭載が認められた電子付録、電子関連資料は、冊子体に含まれず、J-STAGEのウェブサイトにおいてのみ公開される。
  2. 電子付録・J-STAGE Data 電子関連資料を付す場合には、著作権や個人情報を保護する措置等、公開に当たって事前に処理すべき事項を、著者が責任を持って行う。以下に、公開すべきでない状況が発生する一般的なケースを示す。
    - (ア) 分野・研究コミュニティの慣習等で公開制限が一般的なデータ：絶滅の恐れのある野生動物の生息地の詳細や取引など。
    - (イ) 個人情報を含むデータ：一般に個人情報保護法などにより保護されるべき個人を識別しえる情報。公開の許諾を得ていない個人情報を含むデータなど。
    - (ウ) 国家安全保障や国際関係に関わるデータ：兵器に関わるものや国民生活の安全に関わる機微情報。
    - (エ) 共同研究契約や個別の契約により公開が制限されているデータ。
    - (オ) 所属機関、研究助成機関によるデータ公開ポリシーで公開が禁止されている場合。
  3. 電子付録
    - (ア) 電子付録とは、原稿中に掲載しないが内容の理解を助ける上で有用な補足的電子資料である。典型的には高解像度の拡大画像による図や、データを細分化した集計表などの図表、研究組織の詳細、動画・音声資料などがある。電子付録は、J-STAGE「季刊地理学」の当該記事掲出ページからダウンロードできる形で配信される。
    - (イ) 電子付録を構成するファイルは、1ファイルにつき50MBが最大であり、100件までファイルを付すことができる。ただし大量のファイル（10件以上）を電子付録として公開したい場合は事前に編集委員会に確認する。
    - (ウ) 電子付録のファイルには標準的な形式を利用する。具体的なファイル形式については、J-STAGEセンター「電子付録ファイル種別」を確認されたい。  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/UM-01-004\\_sousa\(henshu\)\\_append5.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/UM-01-004_sousa(henshu)_append5.pdf)  
 ただし、これに含まれないファイル形式の搭載を希望する場合は、事前に編集委員会に連絡すること。
    - (エ) 電子付録にはタイトルを付す。例「電子付録S1 青葉山スタディ調査票日本語版」
    - (オ) 電子付録には必要であれば2,000字以内の説明を付すことができる。
    - (カ) 原稿中で電子付録を参照することができる（例「なお、調査票の詳細については電子付録S1を参照されたい。」）。また、原稿本文の末尾に以下のように電子付録のリスト情報を記載する（例 電子付録：S1 青葉山スタディ調査票日本語版、S2 青葉山スタディ調査票英語版、S3 出生コホート別に層化した場合の分析結果）。
    - (キ) 電子付録は原稿投稿時にのみ付すことができる。ファイルは通常の投稿と同様にemail添付で提出する。ただしファイル容量が大きい場合にはファイル転送サービス等を利用して提出すること。
    - (ク) 電子付録の著作権は通常の季刊地理学掲載の原稿記事と同様に、東北地理学会に帰属する。
  4. J-STAGE Data 電子関連資料
    - (ア) J-STAGE DataとはJ-STAGEと契約する学会機関誌に審査の上で掲載された原稿に関連する資料（データ）を、第三者による再利用を前提として公開するものである。
    - (イ) J-STAGE Data 電子関連資料にはDOIが付され、J-STAGE Dataに登録される。J-STAGE Dataのウェブサイトにおいて、それ単独で検索・ダウンロードの対象となる。対応するJ-STAGE「季刊地理学」の原稿記事とJ-STAGE Data 電子関連資料

料は相互参照がJ-STAGEのウェブサイト上で設定される。研究成果の根拠となった研究データ、データ処理に利用したプログラムコード、現地調査によって得られた画像・動画資料、開発した教材スライドなど、研究成果の中で二次利用が期待される資料が対象となる。なお電子付録と内容が重複してもよい。

- (ウ) J-STAGE Data 電子関連資料の著作権は東北地理学会ではなく著者に帰属する。ただし、再利用を前提に公開するものであり、ライセンスは以下から選択する。CC-0 (デフォルト) / CC BY-SA 4.0 / CC BY-NC-ND 4.0 / CC BY-ND 4.0 / CC BY-NC 4.0 / CC BY 4.0 / Apache-2.0 / GPL-3.0 / GPL2.0 / GPL / MIT / CC BY-NC-SA 4.0 (クレジットの表示, 非商用利用を義務付ける CC BY-NC 4.0 を学会としては推奨するが、著者が選択して構わない)
- (エ) J-STAGE Data 電子関連資料 1 件 (複数のファイルから構成されていてよい) は、5 GB が最大である。J-STAGE Data 電子関連資料は、1 つの原稿に対して複数登録してもよい。
- (オ) J-STAGE Data 電子関連資料を構成するファイルには標準的な形式を利用する。
- (カ) J-STAGE Data 電子関連資料には以下の情報が必要である。
- ① タイトル: 英語で付す。日本語タイ

トルを任意で追加してもよい。

- ② 著者: 英語で付す。日本語による著者リストを任意で追加してもよい。
- ③ 関連分野: J-STAGE Data の分野名から 1 つ以上を選択。地理学と関連が深い分野として「地球科学・天文学」「人類学・史学・地理学」「環境学」「学際科学」などがある (資料 A を参照のこと)。
- ④ 対応する季刊地理学掲載の原稿
- ⑤ キーワード: 英語で付す。
- ⑥ 5,000 字以内の説明: 英語で付す。日本語による解説を任意で追加してもよい。
- ⑦ ライセンスの種類
- なお、その他にも任意で付すことのできる情報もある (資料 A を参照のこと)。
- (キ) J-STAGE Data 電子関連資料は、原稿掲載後に登録を申請できる。
- (ク) J-STAGE Data 電子関連資料は、著者自身が J-STAGE Data にアップロードし、これを編集委員会が確認・審査の上で公開を判断する。アップロード手順の詳細については、以下の資料 A を参考のこと。
- <資料 A >  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_data\\_deposit\\_manual.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_data_deposit_manual.pdf)
5. その他  
本規定は、75 巻 1 号から適用する。